

日本思想史学会二〇一〇年度大会プログラム

岡山大学大学院社会文化科学研究科共催

会場 岡山大学文法経講義棟

期間 二〇一〇年一〇月一六日(土)～一七日(日)

第一日 一〇月一六日(土)

○シンポジウム 一三三〇～一六四〇 文法経講義棟第二六講義室

日本思想史学会会長 挨拶

京都大学 辻本雅史

岡山大学大学院社会文化科学研究科長 挨拶

岡山大学 荒木 勝

テーマ 近代日本の宗教―仏教を中心に―

趣旨説明

立命館大学 桂島宣弘

報告 宗教的学知の形成―仏教学を例に―

愛知学院大学 林 淳

報告 帝国と仏教

仏教大学 大谷栄一

コメンテーター

東北大学 佐藤弘夫

○評議員会 一一〇〇～ 文法経一号館三階文学部会議室

○会員総会 一七〇〇～一八〇〇 文法経講義棟第二六講義室

○懇親会 一八三〇～二〇〇〇 岡山大学南福利施設三階

第二日 一〇月一七日(日)

○パネルセッション 文法経講義棟第二二番講義室

両大戦間期日本における戦争と平和(一〇三〇～一二〇〇) 名古屋大学 川田 稔

同志社大学 出原政雄

長江師範大学 藤村一郎

平田国学研究の課題と可能性(一三三〇～一五〇〇)

東海大学 田尻祐一郎

相模女子大学 吉田麻子

国学院大学 遠藤 潤

国際基督教大学 小島康敬

東北大学 桐原健真

近代仏教と真宗の問題(一五〇〇～一六三〇) 宗教情報リサーチセンター 碧海寿広

日本学術振興会 オリオン・クラウタウ

福山大学 引野亨輔

○個別発表

第一会場 文法経講義棟第一三番講義室

午前の部 一〇三〇～一二〇〇

柳田民俗学批判―歴史の欠落をめぐって― 元昭和薬科大学 古田武彦

「作為」の論理は近代思想か? 丸山眞男の議論の再検討と朱子学の現代的意義―

愛知学院大学 下川玲子

津田左右吉裁判と戦後体験 高知女子大学 ジョエル・ヨース

午後の部 一三三〇～一六〇〇

二神約諾思想と三社託宣に関する一考察

皇學館大学 山口剛史

林羅山『本朝神社考』における靈験の位置付け 社会科学的分析への射程

国際基督教大学 鈴木孝子

天明の京都大火と中井竹山―「災後墓言」を中心に

東京大学大学院 清水光明

平尾魯僊の安政2年(1855)における蝦夷地旅行について

ブリティッシュ・コロンビア大学大学院 藤原義天恩

幕末における自然法的天理の形成過程―横井小楠を事例として―

福岡医療福祉大学 樽原孝俊

第二会場 文法経講義棟第一五番講義室

午前の部 一〇三〇～一二〇〇

福沢諭吉における非合理的な「人情」への対処

東北大学大学院 島田雄一郎

独歩の死生観の発展と小説の相貌―死に驚く願望から轢死する人足の心へ―

吉川宣時

ラファエル・ケーベルと高山樗牛―「美学及美術史」「哲学史」講義録の検討―

国立国会図書館関西館 長尾宗典

午後の部 一三三〇～一六〇〇

近代「国史学」と「韓国併合」

池田智文

鄭成功論に見る日本人の境界―植民地期の台湾において

呉華君

ハーグ平和会議をめぐる言説からみる「国際平和」認識

京都府立大学大学院 岡本真奈

戦間期日本における国際「知」―泉哲の場合―

立命館大学大学院 佐藤太久磨

外務省革新派の外交思想 調査部作成『日本固有の外交指導原理綱領』を中心に

国士舘大学大学院 里賢一

第三会場 文法経講義棟第一七番講義室

午前の部 一〇三〇～一二〇〇

鈴木正三における伝記研究上の問題点―思想形成の再把握へ向けて

愛知学院大学 三浦雅彦

石門心学の思想とその展開―石田梅岩と手島堵庵の思想をめぐって―

京都大学大学院 澤井 努

近世中期における孝子顕彰の実態と意義―「孝子」思想への試み―

京都大学大学院 VAN STEENPAAL Niels

午後の部 一三三〇～一六〇〇

「直毘靈論争」再考

東北大学 水野 雄司

暴力としての「もののあはれ」

東北大学大学院 和久井洋子

近世日本思想における「悪」の問題―国学者の「天命」批判を中心に

東京大学大学院 李 維涛

朱熹『大学章句』説への対応に見る東アジア三国の経学方法論の一例

東京大学大学院 姜 智恩

元禄期における「日用」言説の浮上―浅見綱斎の伊藤仁斎批判

京都大学大学院 李 芝映

◎岡山大学附属図書館所蔵貴重書展観

場所 岡山大学附属図書館中央館展示室

期間 一〇月一六日(土)一二:〇〇～一八:〇〇

一〇月一七日(日)一〇:〇〇～一七:〇〇

大会事務局 岡山大学大学院社会文化科学研究科 高橋文博研究室

E-mail:tfumi@cc.okayama-u.ac.jp Tel.&Fax:086-251-7395

※参加費等の事前振込にご協力ください(一〇月八日まで)